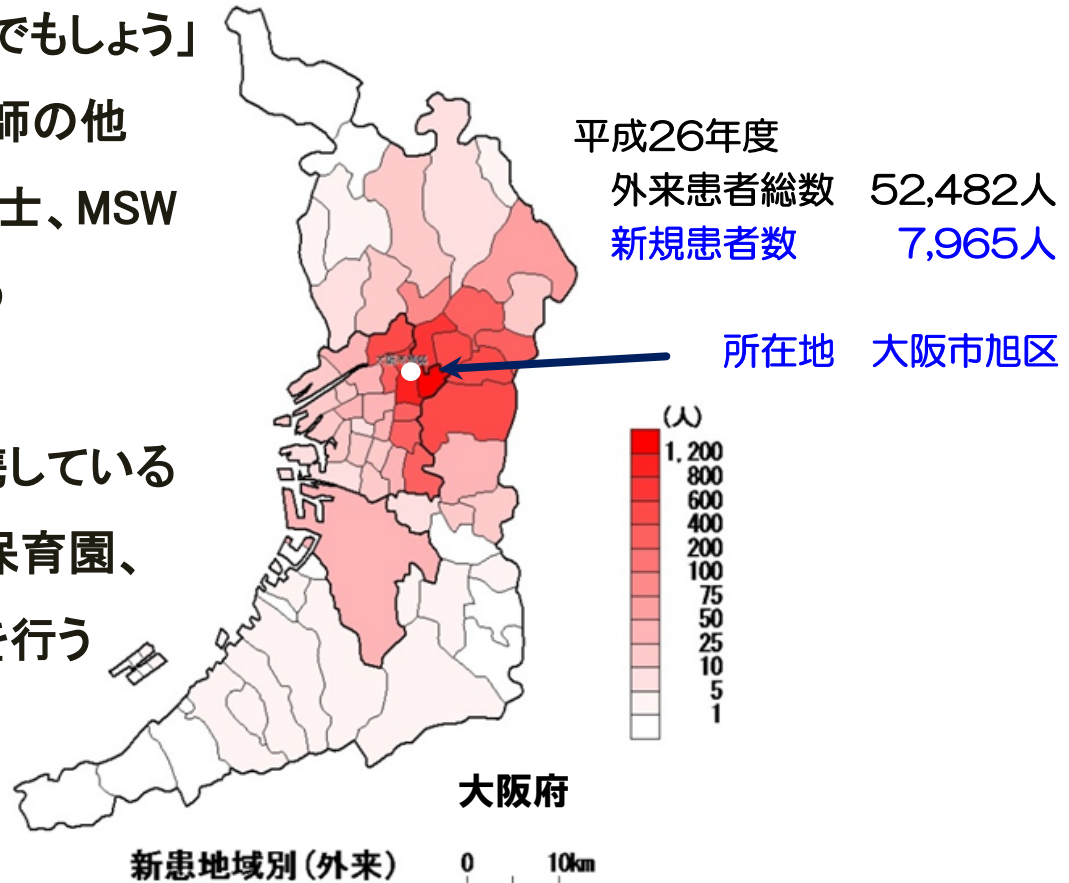


社会医療法人 中野こども病院 概要

◆ **平成41年創立**、全国初の民間小児病院で、79の病床数は小児科として最大級
24時間365日小児救急告示病院、心身両面からの医療提供を行い、大阪市北東部に位置しながらも、患者来院圏は大阪府内広範囲である

◆ **創業の理念**「子どものためなら何でもしよう」
常勤職員数160名で、医師、看護師の他
栄養士、検査技師、保育士、心理士、MSW
等多様な職種でチーム医療を行う

◆ **地域連携と育児支援**
170超の医療機関と地域医療連携している
病児保育を行うとともに、地域の保育園、
行政機関等と連携して育児支援を行う



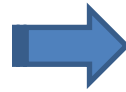
社会医療法人 中野こども病院 新築経過

平成22年



民家、薬局等

旧病院

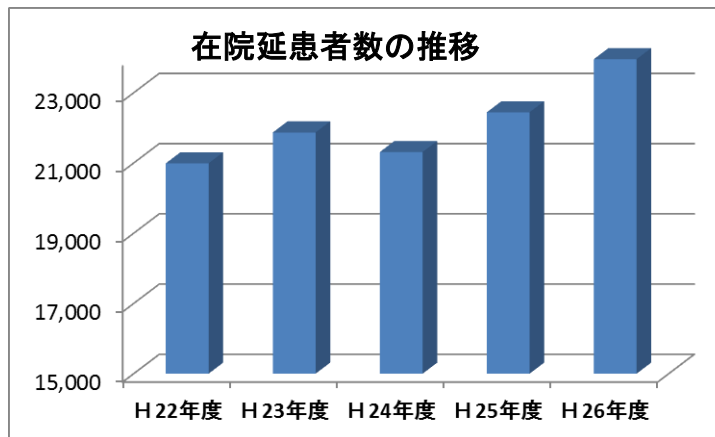


平成27年



新館

新病院本館



少子化にもかかわらず
来院患者数(年約5万人)は一定で、
紹介患者数は10%以上の増
(H22 2,154 ⇒ H26 2,429)

在院延患者数も14%増
(H22 20,991 ⇒ H26 23,956)

◆ 経営効果の要因

新館は平成25年、新本館は平成27年に完成したばかりであるが、建築中から新築計画の情報により、患者の期待度は高まっていた。また、医療スタッフはブリーフィング活動「こども元気会議」等、計画・設計時から積極的な参画を通してモチベーションが向上した結果と思われる。

社会医療法人 中野こども病院 FM4つの視点

経営戦略:医療を通して、地域の育児支援を強化
ファシリティの有効活用で医療機能効率の向上

